

プログラム5 健康で生きがい に満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

高齢化が一層進行する中でも、誰もが生涯を通じて健康に暮らせるよう、世代を超え、県民一丸となった健康づくり運動を展開するとともに、県民一人ひとりの生きがいづくりを進めることなどにより、本県の活力を維持します。

併せて、県民が安全で安心に暮らすことができるよう、良質な医療を受けられる地域医療体制の確保や地域における福祉の充実を図るとともに、関係機関との連携を図り、地域住民の力も生かしながら、自然災害を始めとしたさまざまなリスクに対応するための取組みなどを進めます。

(1) 健康づくりと生きがいづくり

新1 「うつくしまから太陽へ」県民健康運動（保健福祉部） 5,966

健康長寿社会の実現を図るため、各地域のウォーキング大会・マラソン大会等の全体走破距離を太陽めざして積み上げて、運動による健康づくりを進めるとともに、健康に関わる網羅的な県民健康大会を開催するほか、協力事業所等と連携して健康情報の発信やがん検診等の普及啓発を行う。

2 未来(ゆめ)づくり食育事業（子ども施策担当理事（保健福祉部）） 941

未来を担う子どもの望ましい食習慣の定着を図るため、食育推進ネットワーク会議を構成する民間団体と連携し、幼稚園、保育所等の食育計画の策定の支援や子どもたちを対象とした地産地消と食の安全に関する体験学習を行う。

新3 ふくしまっ子食育推進ネットワーク事業（教育庁） 2,497

栄養教諭の専門性を各地域で活用する体制を整備するとともに、食を要とした生活習慣を改善する取組みや地域の教育力を活用した食育体験を学校種に応じて展開し、学校、家庭、地域の協働による食育を推進する。

新4 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト（文化スポーツ局） 9,798

第20回全国生涯学習フェスティバルによって構築された人的ネットワークを活用し、「共生・協学」の理念が受け継がれるよう、学びの場の提供を行うことにより、人づくり・地域づくりにつなげる。

【ふくしまの映像文化アーカイブ事業：昭和50年代以前の各家庭にある8ミリフィルム等を広く募集し、修復の上、電子アーカイブとして保存するとともに、「昭和 福島暮らし」など一定のテーマで編集し、「福島こどものみらい映画祭」において発表する。（4,413千円）】

5 うつくしま文化元気ルネサンス事業（文化スポーツ局） 8,979

県民が文化に親しみ交流できるよう、文化活動を発表、鑑賞する場を年間を通して提供するとともに、文化的な地域資源に光を当て、それを生かした地域活性化を推進することにより、「する・見る・支える」文化の醸成を図り、県民総参加による文化の振興を目指す。

(2) 地域医療の確保と地域福祉の充実**1 会津医療センター（仮称）整備事業（病院局） 3,399,108**

県立医科大学の附属病院として会津医療センター（仮称）の建築・設備工事等を実施する。

新2 地域医療再生基金事業（会津・南会津医療圏）（保健福祉部、病院局） 283,720

会津・南会津医療圏における医療課題を解決するため、地域医療機関の連携、地域・家庭医療センター整備、救急医療体制の充実などの事業を実施する。

【地域・家庭医療センター整備事業：家庭医の研修及び診療の拠点となる地域・家庭医療センターを整備するために必要な費用の一部を補助する。（210,000千円）】

新3 地域医療再生基金事業（相双医療圏）（総務部、保健福祉部、病院局） 544,715

相双医療圏における医療課題を解決するため、医師の確保を図るとともに、大野病院と双葉厚生病院の統合などを通じた救急医療体制の構築、在宅医療の充実強化などの事業を実施する。

【双葉地域救急センター等整備事業：大野病院における救急専用病床及び多目的医療用ヘリを整備するための調査や設計を実施する。（21,000千円）】

新4 精神科救急医療システム整備事業（精神科救急情報センター事業）（保健福祉部） 5,443

緊急に治療を必要とする精神障がい者やその家族、消防、警察、一般の医療機関などからの精神科救急に関する相談に対応するため、精神科救急情報センターを設置する。

新5 医師派遣事業等（医科大学運営費交付金・地域医療再生基金事業）（総務部、保健福祉部） 627,153

地域医療の充実と、医師の県内定着を図るため、県立医科大学に助手を65名配置し、相双医療圏の中核病院等をはじめ支援要請のあった県内の医療機関へ非常勤による派遣を行う。

6 おもいやり駐車場利用制度推進事業（保健福祉部） 4,543

車いす使用者用駐車施設を利用できる人に利用証を発行する「おもいやり駐車場利用制度」の更なる周知をすることで駐車施設の適正利用を図り、障がい者、高齢者、妊産婦などが安心して生活・子育てできる環境づくりを進める。

新7 在宅ケア推進事業（保健福祉部） 6,917

県民が質の高い在宅ケアを受けることができるようにするため、がん患者や在宅療養者への専門的な看護に関する研修や訪問看護人材を育成する講習を実施する。

8 発達障がい地域支援体制強化事業（子ども施策担当理事（保健福祉部）） 12,723

発達障がいについて、身近な地域で適切な支援が受けられるよう、発達障がい者支援センターを中心とした支援体制を整備するとともに、早期発見・早期支援に向けた特別支援教育と連携した支援方法の検討や人材育成等を行い、地域の支援力の向上を図る。

（再掲） 特別支援教育総合推進事業（教育庁） 6,022

プログラム1 - (1) 9に同じ

(3) 災害等への備えと身近な安全と安心の確保**新1 みんなでいのちを守る地域防災力向上事業（安全管理監（生活環境部）） 2,040**

災害時において高齢者や障がい者等の災害時要援護者の避難支援体制を構築するための支援事業や避難支援の担い手となる自主防災組織の活性化に向けた支援を行う。

新2 地上デジタル放送共聴施設整備支援事業（企画調整部） 20,000

地上デジタル放送への移行に伴い、災害情報など必要な情報を得られるように、受信環境を整備するため共聴施設の新設や既存施設の改修に要する経費の一部を助成する市町村へ補助する。

新3 災害拠点病院等耐震化事業（保健福祉部） 2,479,384

大規模地震等の発生時において適切な医療提供体制の維持を図るため、災害拠点病院等の耐震化整備に要する費用の一部を補助する。

4 緊急橋りょう改修事業 外（土木部） 2,576,800

県民の安全で安心な生活を支えるため、高度成長期以降に集中して整備され、今後、急速に老朽化が進む橋りょうの長寿化対策を実施するとともに、緊急輸送路の橋りょうについて大規模な地震に対応した対策を行い、戦略性をもち計画的に維持管理を推進する。

5 新型インフルエンザ対策推進事業（保健福祉部） 1,295

新型インフルエンザ発生時に速やかに対応するために、医療体制の整備と社会機能維持のための対策を推進する。

6 集中豪雨から命を守るプロジェクト事業（土木部） 2,034

近年、集中豪雨が発生していることから、水災害情報図の作成・公表や子どもの水難事故を防ぐための出前講座の実施など、「犠牲者ゼロ」を目指した取組みを推進するとともに、地域と連携した水災害対策の推進を図る。

7 安全で安心な県づくり推進事業（安全管理監（知事直轄）） 1,129

「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画」に基づき、県民の自助・共助による自主的な活動を促進する体制を整備し、県、市町村、地域の活動団体など様々な活動主体と情報の共有化を図るとともに、相互に連携・協力し、安全で安心な県づくりを推進する。

8 消費者行政体制強化事業（生活環境部） 107,179

消費生活センターの機能強化を図るとともに、高齢者、若年層、小学生とそれぞれの世代に応じた啓発活動を実施する。また、消費者行政の機能強化を行う市町村に対する支援を行う。

9 食の安全・安心推進事業（安全管理監（生活環境部・保健福祉部・農林水産部）） 13,054

「食の安全・安心」の確立を図るため、消費者・事業者・生産者を対象に食品衛生法、JAS法、景品表示法などの理解を促進するための講座の開設や消費者・事業者への周知啓発事業等を実施する。

新10 GAP導入支援普及活動推進事業（農林水産部） 1,454

GAP（農産物生産工程管理）の導入を進めるため、農林事務所農業振興普及部（所）における指導者の育成・確保を図り、産地における高度なGAPの導入支援に関する効果的な普及活動を実施する。

新11 自転車安全総合対策推進事業（安全管理監（警察本部）） 19,966

中・高校生に対して自転車の交通ルールやマナーアップを図るとともに、自転車盗多発駐輪場に「サイクル監視員」を配置することで自転車盗難被害防止や安全利用を推進する。

プログラム5	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	24	10,136,838
その他の事業	44	8,151,489
合計	68	18,288,327

再掲事業は除く